

3 年	単元名	すがたをかえる大豆／食べ物のひみつを教えます	6 時間
単元の目標	◎中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。 ◎目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書くことができる。 ○「初め」「中」「終わり」の構成を意識し、「中」の事例を絵と組み合わせながら段落に分けて書くことができる。		
日本語の目標	○複数ある事例を列挙するときに使える表現を知る。「まず」「次に」「また」「さらに」など ○調理に関する言葉を知る。「にる」「いる」「(こなに) ひく」「むす」「ゆでる」など ○「～して食べるくふうがあります。」「○○を・・・してーすると、△△になります。」等の表現を使って、説明文を書くことができる。		
学習課題	目的に適した事例を複数挙げながら、段落に分けて説明する文章を書くことができる。		
主な学習活動	文章を段落に区切り、構成を意識して読む。 「まず」「次に」「また」「さらに」と「このように」などを使って、事例を挙げて説明文を書く。		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
1	家庭学習課題	調理に関する言葉を国語辞典で調べる。	・言葉集めカードに記入する。
	学習課題をつかむ 「すがたをかえる大豆」を読む 自己評価をする	めあて <u>大豆のひみつを見つけよう</u> ①料理に関する言葉の味について発表する。 ②範読を聞いて、初めて知ったことや既に知っていたことなどの情報をワークシートに整理する。	・料理に関する表現を知ること、後で使えるようにする。 ・紙芝居型本文を配付する。 ・ループリックで自己評価する
	家庭学習課題	紙芝居型本文を持ち帰り、「すがたをかえる大豆」を音読する。	
2	学習課題をつかむ 段落ごとに詳しく読む	めあて <u>せつめい文のひみつを見つけよう</u> ①文章を段落に分けて読む。 ・それぞれの段落を「初め」「中」「終わり」に分ける。 ・どうしてそこで分けたのかを、ペアで説明し合う。 ③「すがたをかえる大豆」の「中」の各段落を読む。 ・段落③～⑦に書かれた「おいしく食べるくふう」と「食品」を読み取り、ワークシートに整理する。 ④各段落の一つめの文と二つめの文に何が書かれているか読み取り、段落内の文章構成の工夫に気づく。	・長い文章は区切って読むことを思い出し、文章には「はじめ」「中」「おわり」の構成になっているものが多いことを意識させる。 ・ペアの組み方にも配慮する。 ・段落内の文章構成を知ること、後に自分で文章を書くときの参考にする。
	学習課題をつかむ 興味を持った食材について調べる 自己評価をする	めあて <u>食べ物のひみつを調べよう</u> ①教科書のモデル文から「食べ物のひみつを教える説明文」書き方を考える。 ②調べてみたい食品について考えてWeb図をかく。 ・調理法ごとに料理名を書き、分からないところは空欄にしておき、後で本やインターネットで調べることとする。	・文章構成や使いたい表現を確認し、後で使えるようにする。 ・好きな食べ物の主な材料から考えてもよいこととする。 ・調理法ごとに様々な料理があることを想起させる。
	家庭学習課題	分からないことを本やインターネットで調べる。 「すがたをかえる大豆」を音読する。	・インターネットの使用に際しては保護者の協力を得る
4 5	学習課題をつかむ 説明文を書く 自己評価をする	めあて <u>食べ物のひみつを教えるせつめい文を書こう</u> ①調べてきたことやWeb図をワークシートに整理する。 ・ワークシートの使ってみたい言葉を確認する。 ②ワークシートを作文メモ代わりにして、説明文を書く。	・段落ごとに読み返しなが、誤字脱字をチェックさせる。
	家庭学習課題	説明文を書き終えられなかったら、仕上げてくる。	
	学習課題をつかむ 自己評価をする	めあて <u>友達が書いた食べ物のひみつを読んでみよう</u> ①ペアごとに発表し合い、一番食べてみたい料理を書きとめる。 ・互いに発表しあったら、ペアをかえて繰り返し発表し合う。 ②「食べ物のひみつ図かん」の表紙をつくる。	・どんな食材や料理があったかを思い出しなが表紙の絵をかかせる。
	家庭学習課題	表紙を描き終えられなかったら、仕上げてくる。	・後日、作文を「食べ物のひみつ図かん」にまとめ、配付する。